

あけぼのおと NO,5 ゆりぐみ

ゆり組になって大きく成長し、更にパワーアップした子ども達。鬼ごっこやストップゲーム、椅子取りゲームやハンカチ落としなどのルールのある遊びを通して集団遊びを楽しむようになりました。そんな今回はホールで取り組んでいる運動遊びの様子をお知らせします。

ひまわり組の姿を見て「やってみたい」と意欲的に！

四肢を使った運動遊びとしてマットでのでんぐり返し、ケンケンパ、大縄跳びで連続跳びをするなど、様々な遊具を組み合わせるサーキット遊びを楽しんでいます。以前おひさま広場でひまわり組と一緒に遊ぶ機会があり、その姿を見て「ひまわりさんって力持ちだね」「鉄棒も雲梯もできてカッコいいな」と憧れを持つ言葉が聞かれていました。4月からひまわり組になるということもあって色々な場面で意識するようになり、サーキット内容の難易度を少しあげて挑戦してみました。どの遊具も両手両足を交互に動かして移動しないと進むことができないのですが、初めは保育士の見本を見ながら「こんなのできるよ」「簡単じゃん」と子ども達。ですがいざ自分の番になり挑戦してみると「意外と難しい」と苦戦しながら行う姿が……。鉄棒のやり方と同じように棒を握る手は親指の掴む位置が下になっているのか、お尻をなるべくあげないで腕の力とつま先で支えながら横移動するなど、繰り返し遊ぶうちに手足の動かし方やどこに手を付いたら進みやすいのかなど考えることでコツを掴んでできるようになってきましたよ。「先生出来たよ！」と自分でできたことの達成感を味わった表情は、保育士も嬉しく思います。他にも大縄跳びではその場跳びで両足ジャンプができることや、前転をする時に頭はおへそを見るようにして体を丸める姿勢を意識するなど、4歳児の運動面の育ちを意識しながら今後も取り組んでいきたいと思えます！

